

新しい天と新しい地〔要約〕

黙示録 21 : 1 ~ 8

- 1 また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。
- 2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。
- 3 そのとき私は、御座から出る大きな声がかう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、
- 4 彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」
- 5 すると、御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」また言われた。「書きしるせ。これらのことばは、信すべきものであり、真実である。」
- 6 また言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。わたしは、渇く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。
- 7 勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。
- 8 しかし、おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行なう者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。」

(A) 新しい点と新しい地

黙示録 21:1 また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。ヨハネが見ている。人類の歴史は、エデンの園から始まった。

Ⅱペテロ 3:12 そのようにして、神の日の来るのを待ち望み、その日の来るのを早めなければなりません。その日が来れば、そのために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

Ⅱペテロ 3:13 しかし、私たちは、神の約束に従って、正義の住む新しい天と新しい地を待ち望んでいます。以前の天と地は過ぎ去る。

(B) 新しいエルサレム

黙示録 21:2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。新しいエルサレムが天から下ってくるのをヨハネは見た。

ヘブル 11:9 信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をともに相続するイサクやヤコブとともに天幕生活をしました。

ヘブル 11:10 彼は、堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都を設計し建設されたのは神です。

アブラハムは、新しいエルサレムを待ち望んでいました。アブラハムは BC2000 年の人です。今は 2021 年ですから、アブラハムの時から 4000 年はたっているのです。神様の約束を信じるといことは、アブラハムのように信じることだと教えられました。

(C) 第1の宣言

黙示録 21:3 そのとき私は、御座から出る大きな声がかう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、神様の幕屋が人と共にある。神様が人と共に住んでくださる。イエス様と、顔と顔を合わせて見ることが出来るのです。なんかうれしくなります。

黙示録 21:4 彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」

罪から来た呪いが取り去られたので、涙を流す必要がなくなったのです。私はあまり涙を流しませんが、家内はよく涙を流します。家内の涙をイエス様がぬぐってくださる、考えただけでうれしくなってきました。

(D) 第2の宣言

黙示録 21:5 すると、御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」また言われた。「書きしるせ。これらのことばは、信すべきものであり、真実である。」
「御座についておられる方」＝「キリスト」・すべてを新しくする。

Ⅱコリント 5:17 だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

この地上では人間には罪があるので、すべてが新しくなることは出来ないが、新天新地では自我がなくなるのです。なんと感謝なことではないでしょうか。

黙示録 21:6 また言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。わたしは、渇く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。

黙示録 21:7 勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

「また言われた」＝「キリストご自身の声」

「事は成就した」＝「神様が約束されたことはすべて成就する」

「わたしはアルファでありオメガである」＝「最初であり、最後である」・神様の永遠性を表している。

ヨハネ 4:14 しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」

永遠に乾くことのない水・「勝利を得る者」＝「福音を信じる者」

私が高校の先生をしていた時、ある生徒が期末試験を受けに来なかったのです。私は真つ青になって彼の家にきました。彼のお母さんから、彼は夜通しうわごとを言って、夜寝ていないということです。私は彼に彼の悩みを聞きました、彼は「試験は差別だ」というのです。勉強は一人がみんなを助けるためにやり、みんなが一人を助けるためにやるのが勉強だ、然し試験は合格するものと不合格のものが出るので差別だ」というのです。

私は彼のいうことに納得しましたが、明日試験に出てきてくれないと困るので、ニール宣教師に電話をして、こういう生徒を教会に連れていくけど、いいですかと尋ねたら、いいということで連れて行きました。ニール先生はいきなり彼に福音を語り始めたのです。タベ、うわごとを言って寝ていない彼に福音を語る、宣教師とはなんと常識がないんだと思って聞いていました。先生は彼に「あなたは勝利者になりたくないか」と尋ねたら彼はなりたいたいというのです。

ヨハネ 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

「イエス・キリストを信じる者は戦わずして勝利者になれる、あなたはイエス・キリストを信じますか。」と言ったら、彼は信じるというのです。信じない人は滅びるので敗北者だというのです。私はあんまりうれしかったので、彼に「明日試験受けに来い。」というのを忘れたのですが、彼は次の日、試験を受けに来ていました。私は福音に対して目が開かれました。

黙示録 21:8 しかし、おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行なう者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。」

福音を信じた者の罪はすべて赦されます。福音を信じない人は、火と硫黄との燃える池に投げ込まれます。

ヘブル 11:9 信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をともに相続するイサクやヤコブとともに天幕生活をしました。

ヘブル 11:10 彼は、堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都を設計し建設されたのは神です。

約束の地が与えられる。新しいエルサレムを待ち望んだ。

ヘブル 12:22 しかし、あなたがたは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。

ヘブル 12:23 また、天に登録されている長子たちの教会、万民の審判者である神、全うされた義人たちの霊、

「まっとうされた義人たちの霊」＝「旧約時代に救われた人」

結論

エペソ 2:1 あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、イエス・キリストを信じていない人は「自分の罪過と罪の中に死んでいる」ことを知りません。

自分の罪過と罪の中に死んでいるということは、アダムがサタンの誘惑に負けて、善悪の知識の木からとって食べた結果、全人類が、「自分の罪過と罪の中に死んでいる」と神様から、みなされることになったのです。神様はイエス・キリストを信じている人を生きていとみなし、信じていない人を死んでいると、みなされるのです。

創世記 2:17 しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

創世記 3:17 また、アダムに仰せられた。「あなたが、妻の声に聞き従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、土地は、あなたのゆえにのろわれてしまった。あなたは、一生、苦しんで食を得なければならぬ。」

創世記 3:18 土地は、あなたのために、いばらとあざみを生えさせ、あなたは、野の草を食べなければならぬ。」

ローマ 8:21 被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由の中に入れられます。

ローマ 8:22 私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみを
していることを知っています。

アダムが悪魔の誘惑に負けて罪を犯して、自然が呪われたのは BC4000 年です。今は 2021 年ですから、自然が呪われてから 6000 年たっています。福音を信じれば、新しい天と新しい地に入れてもらえると言っても、時間が長すぎるのです。私が腰痛で夜も痛くて、眠れなかったとき、腰痛を 1 回で治す人がいると聞いた時 1 回 3 万 7 千円払って直してもらいました。星野富弘さんは 9 年間入院生活をしました、そして治りませんでした、しかしイエス様を信じました。福音を信じる方も福音を語る方も人間の力ではないことがわかります。

エペソ 2:2 そのころは、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従つて、歩んでいました。

エペソ 2:3 私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあつて、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行ない、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。

多くの人はイエス・キリストを信じない人は神様から裁かれることを知りません。
天地創造の神様がおられることも知らないのですから。そのような人にどうやって福音を語るのか。

エペソ 2:4 しかし、あわれみ豊かな神は、私たちが愛してくださったその大きな愛のゆえに、

Iヨハネ 4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちが愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。
家内が救われたのは神様が家内を愛してくださったからです。
家内は、自分のことを愛してくださった神様を信じたのです。

ルカ 7:37 すると、その町にひとりの罪深い女がいて、イエスがパリサイ人の家で食卓に着いておられることを知り、香油のはいった石膏のつぼを持って来て、
ルカ 7:38 泣きながら、イエスのうしろで御足のそばに立ち、涙で御足をぬらし始め、髪の毛でぬぐい、御足に口づけして、香油を塗った。

この罪深い女は売春婦ですが、イエス様がパリサイ人の家にいるのを聞いて彼女もパリサイ人の家に来ました。イエス様の足を見るとほこりまみれなのです。彼女はイエス様に愛された経験があるので、イエス様の足を洗ってあげたいのです。彼女はパリサイ人からは汚らわしい女とみなされているので、洗い桶とタオルを貸してくださいとは頼めないのです。彼女は自分の涙でイエス様の足を洗うのです。そして自分の髪の毛で、イエス様の足を拭くのです。そしてイエス様は彼女の罪の身代わりとして十字架で死ぬのです。

私はこの話を聞いた時、世の中にはなんと馬鹿な人がいるもんだと思いました。売春婦のために死ぬ、命は一つしかないのもっと大切なもののために命を使うべきだと思いました。

ローマ 5:8 しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。
しかし1週間ほどしてイエス様が好きになりました。それは、私は母から「英雄、愛の人になりなさいよ」と言われて育ちました。私も愛の人になろうと努力するのですが、後から考えると自分を認めてもらうためにやっていることに気づき、自分は愛の人にはなれないと思いあきらめていました。しかしイエス様についていけば少しは愛の人になれるという希望が湧いていたのです。

エペソ 2:5 罪過の中に死んでいたこの私たちがキリストとともに生かし、…あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです。…

エペソ 2:8 あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。

私たちが伝道したい人を救うのは神様の恵みです。
私たちが伝道したい方に神様の恵みが届くように祈れば良いのです。

マタイ 26:39 それから、イエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈って言われた。「わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください。」